

くるまファン拡大賞

「夢のくるまコンテスト」に協力

豊田自動織機

豊田自動織機は1994年以降、同社長草工場が立地する愛知県大府市の働きかけにより、同市が主催する「夢のくるまコンテスト」に30年以上にわたり継続的に協力している。

このコンテストは、市内の小学校9校の5、

6年生を対象に、夏休みの自由課題として子どもたちが描いた「夢のくるま」の中から優秀作品を選出して表彰するもので、応募は毎年1千件を超える。同社では、この優秀作品を基に自社のカーデザイナーやカーモデラーがモデルカーやレンドリング画を制作し、入賞した子どもにこれをプレゼントしてきた。2011年からは、コンテストの事前学習として

「未来のくるま学習」を開始した。カーモデラーが講師となり、市内の小学5年生に自動車の魅力やデザインの面白さを伝えている。



活動に参加した同社デザイナーも地域に直接貢献し感謝されることで、本来の

地域とつながり次世代の創造力育む

業務へのモチベーション向上を実感しているという。

これらの取り組みは、自動車産業が地域の主要産業の一つとなっている同市において、地域と自動車産業をつなぎ、次世代の創造力を育む活動となっている。



【受賞者コメント】このたびは「くるまファン拡大賞」を受賞させていただき、大変光栄です。地域とものづくりを繋ぎ、次世代の創造力を育むことを目的に約30年にわたり実施してきた本活動は、地域行政や学校をはじめ、多くの方の協力のもとで継続することができました。本年からは、さらに小学生向けの工場見学も立ち上げ、今回受賞の活動と連携させることで、次世代を担う子どもたちにもものづくりの魅力が伝わるよう努めてまいります。